

理事会議事録

青松同窓会

日時 令和5年6月3日(土) 14時~15時00分

場所 附属天王寺中・高等学校3階 小講堂

出席者 藤井会長以下 31名

司会：井上周書記

【議事】

1. 会長挨拶

- ・2週間後に総会・懇親会が開催される。4年ぶりの懇親会であり、多くの皆さまとお会いできることを楽しみにしている。本日は令和4年度の会計報告もあり、ご審議いただきたい。

2. 母校近況報告

- ・附高同窓会担当 店田先生より

高1の討論合宿を行ったが、コロナ前と同じように実施することができた。心配していたコロナ感染は散見されたものの、討論合宿が原因と思われる生徒はいなかった。この後予定されている体育祭、附高祭に関しても保護者の参加を予定しており、全体としてコロナ前の生活に戻っている。附高生活が元気を取り戻してきているように感じている。

- ・附中同窓会担当 木待先生より

中1は5月に合宿訓練を実施した。昨年まではコロナの影響で食事に制限もあったが、今年は例年通り飯ごう炊飯を楽しむことができた。中2宿泊行事では富士登山が復活予定である。4年ぶりの開催であり富士登山の経験者が少なく、今年は教員およびインストラクターの人数を増やして対応していく。また、事前に登山トレーニングを行う。中3は5月に乗鞍への修学旅行を無事終えた。今年は乗鞍修学旅行50回と記念すべき会であり、お世話になっている宿泊施設からサプライズとしてキャンプファイアーで打ち上げ花火がプレゼントされた。教員、生徒も感激し、思い出となる修学旅行となった。

また、学校でのマスク着用も緩和されたが、まだ生徒の着用は7~8割程度である。

3. 令和4年度会計報告及び会計監査報告(平井副会長、下代監事)

- ・一般会計報告および名簿会計報告とその財産目録の詳細、特別会計報告とその財産目録に関して平井副会長より報告があった。令和4年度会計報告に対し、拍手を持って採決を行い、賛成多数で承認された。
- ・令和4年度会計監査報告がなされた。下代監事と吉村監事の両名で監査を行い、適正で問題ないことが報告された。これまでは捺印した複写を提示していたが、個人情報の関係で捺印した複写を配布しないこととした。原本には捺印して保管している旨、説明があった。

4. 令和5年度予算案の件(平井副会長)

- ・収入の部では、今年度は総会・懇親会を実施することから「総会当日会費」を計上。支出の部で

は、「総会費」の支出に加え、支部活動や同期会も活発になると思われることから、「支部費」、「同期会援助金」を増額した。その他、懸垂幕の張り替え費用「その他雑支出」が増額。

令和5年度会計予算案に対し、拍手を持って採決を行い、賛成多数で承認された。

- ・特別会計に関しては、学校で必要な場合に使用できるように保管している費用であるが、現時点で使用目的が明確になっていないこともあり、今後のことを考えて整理しておくことが必要との意見があった。これまでも同じ議論が繰り返されていることもあり、使用目的を明確化する方向で役員で検討していく。

5. 令和5年度事業計画案の件（太田会計）

- ・以下の事業計画案が提示された。『総会、会報「青松」の発行、会報総集編の販売促進、理事会・常任理事会・4役会の開催、支部会、委員会活動の充実、会費納入率の向上、住所不明理事の調査・発掘、同期会の活性化、終身会費制』

令和5年度事業計画案に対し、拍手を持って採決を行い、賛成多数で承認された。

- ・定年も延長されてきていることから、終身会費の適用年齢を上げていくことを考えてはどうか意見があった。藤井会長より、会費の納入状況も踏まえ、検討していきたいと回答。

6. 令和5年総会・懇親会の件（平田副会長）

- ・4年ぶりに開催される総会・懇親会の準備を進めている。幹事期の方は理事会終了後に打合せを実施し最終の準備確認を行う。

7. その他

- ・附中乗鞍修学旅行50周年を迎えて（藤井会長）

廣瀬副校長より支援のお願いがあった。中3の乗鞍修学旅行が50周年を迎え、今回宿舎の皆さまの計らいで盛大な打ち上げ花火をご準備いただき、大変思い出に残る修学旅行となり、あらためて乗鞍の50年にわたる修学旅行が、附属天王寺のひとつづくりに寄与していると強く感じた。これまでの感謝を込めて、4軒の宿舎に壁掛け時計を寄贈したく、支援の依頼があった。

拍手を持って理事の賛同を得ることができ、青松同窓会から支援を進めることとなった。

今後の行事予定

次回理事会	令和5年10月21日（土）14：00より
	令和6年3月30日（土）14：00より
令和5年総会・懇親会	令和5年6月17日（土）
	ホテル都シティ大阪天王寺
	総会 17：15~17:45
	懇親会 18：00~20:30

以上

議事録作成人： 井上 周